

NY マーケットレポート (2016年10月20日)

NY 市場では、米大統領選の候補者討論会で民主党のクリントン氏が優勢だったとの見方から、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、比較的安価な通貨とされる円を売る動きが先行した。そして、その後に発表された米中古住宅販売件数が市場予想を上回り、3 ヶ月ぶりに増加したことを受けて、米国の年内の利上げ期待が高まり（米金利先物市場での12月の利上げ確率67.6%、前日64.3%）、ドルは堅調な動きとなった。一方、ドラギ ECB 総裁が定例会見で「本日の会合で量的緩和延長の議論はなかった」と発言したことを受けて、ユーロは主要通貨に対して上昇した。しかし、その後「テーパリングは議論しなかった」との発言を受けて下落に転じるなど、値動きの荒い動きとなった。また、EU 大統領は、英国が正式な離脱手続きを開始してからでないと EU 離脱交渉は開始されないとし、今回の EU 首脳会議では英国の問題について協議する予定はないと述べたことを受けて、ポンドは主要通貨に対して下落する場面もあった。

2016年10月20日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	103.74	103.81	103.35
EUR/JPY	113.83	113.88	113.42
GBP/JPY	127.37	127.50	126.99
AUD/JPY	79.46	80.00	79.39
EUR/USD	1.0976	1.0981	1.0952

LONDON	高値	安値
USD/JPY	103.78	103.60
EUR/JPY	113.91	113.70
GBP/JPY	127.47	126.98
AUD/JPY	79.58	79.40
EUR/USD	1.0988	1.0962

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	103.95	104.11	103.57
EUR/JPY	113.55	114.51	113.38
GBP/JPY	127.38	127.61	126.62
AUD/JPY	79.27	79.54	79.24
NZD/JPY	74.78	75.02	74.67
EUR/USD	1.0925	1.1040	1.0916
AUD/USD	0.7628	0.7675	0.7622

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18162.35	-40.27
S&P500	2141.34	-2.95
NASDAQ	5241.83	-4.58
日経225 (CME)	17280	+295
トロント総合	14848.27	+7.78
ボルサ指数	48274.25	-218.36
ボベスパ指数	63837.85	+332.25

10/21 経済指標スケジュール

11:00 【ニュージーランド】9月クレジットカード支出
 16:00 【トルコ】10月消費者信頼感指数
 16:00 【スイス】9月マネーサプライM3
 17:30 【英国】9月公共部門純借入額
 21:30 【カナダ】9月消費者物価指数
 21:30 【カナダ】8月小売売上高
 23:00 【欧州】10月消費者信頼感

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1267.50	-2.40
NY 原油	50.43	-1.17
CME コーン	351.00	-6.50
CBOT 大豆	975.50	-6.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.819%	0.799%
3年債	0.976%	0.952%
5年債	1.248%	1.226%
7年債	1.542%	1.525%
10年債	1.752%	1.720%
30年債	2.504%	2.502%

ドイツ10年債	0.003%	0.030%
英国 10年債	1.077%	1.082%

10/21 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 挨拶・講演
- ・タルーロFRB理事 講演
- ・サンフランシスコ連銀 講演

NY 市場レポート

20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州中銀 政策金利 0.00% (予想 0.00%・前回 0.00%)

欧州中銀 上限政策金利[限界貸出金利] 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)

欧州中銀 下限政策金利[中銀預金金利] -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.40%)



出所 : Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 26.0 万件 (予想 25.0 万件・前回 24.7 万件)

前回発表の 24.6 万件から 24.7 万件に修正

米失業保険継続受給者数 205.7 万人 (予想 205.3 万人・前回 205.0 万人)

前回発表の 204.6 万人から 205.0 万人に修正



出所 : Bloomberg

＜新規失業保険申請件数・継続受給者数＞

年月	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/10/08	260,000	+13,000	251,750	*****	*****
16/10/08	247,000	+1,000	249,500	2,057,000	1.5%
16/10/01	246,000	-8,000	252,750	2,050,000	1.5%
16/09/24	254,000	+3,000	256,000	2,062,000	1.5%
16/09/17	251,000	-9,000	258,250	2,064,000	1.5%
16/09/10	260,000	+1,000	260,750	2,108,000	1.5%
16/09/03	259,000	-4,000	261,250	2,149,000	1.6%
16/08/27	263,000	+2,000	263,000	2,142,000	1.6%
16/08/20	261,000	-1,000	264,000	2,157,000	1.6%
16/08/13	262,000	-4,000	265,250	2,145,000	1.6%
16/08/06	266,000	-1,000	262,750	2,175,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比+1.3万件的26.0万件となり、市場予想を上回る結果となった。そして、節目となる30万件は85週連続で下回っている。申請件数の4週移動平均は、前週比+2250件の25万1750件となった。また、集計が1週間遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+0.7万人の205.7万人となり、5週間ぶりに増加した。受給者数の4週移動平均は、前週比-1万2750人の205万8250人となり、2000年7月8日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週から横ばいの1.5%だった。

21:30

＜経済指標の結果＞

10月フィラデルフィア連銀景況指数 9.7 (予想 5.0・前回 12.8)



出所: Bloomberg

＜フィラデルフィア連銀指数＞

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
景況指数	9.7	12.8	2.0	-2.9	4.7	-1.8
仕入価格	7.0	20.6	19.7	9.9	23.0	15.7
販売価格	-3.7	9.7	7.1	0.3	3.9	14.8
新規受注	16.3	1.4	-7.2	-11.8	-3.0	-1.9
出荷	15.3	-8.8	8.4	6.3	-2.1	-0.5
受注残	-0.7	-10.8	-15.0	1.9	-12.6	-8.8
入荷遅滞	-0.3	-9.3	-3.8	1.3	-8.3	-14.6
在庫水準	-12.8	26.2	-9.2	-4.3	-9.9	-2.5
雇用者数	-4.0	-5.3	-20.0	-1.6	-10.9	-3.3

6ヵ月先予想

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
景況指数	32.6	37.5	45.8	33.7	29.8	36.1
仕入価格	42.4	42.1	29.1	26.4	37.8	24.8
販売価格	29.2	33.4	13.9	24.1	16.5	10.5
新規受注	39.3	36.7	44.9	29.2	29.9	39.9
出荷	40.8	30.5	51.0	27.2	32.2	37.9
受注残	15.3	9.7	3.2	12.1	-0.6	14.5
入荷遅滞	6.2	8.5	-2.2	0.5	2.4	-2.2
在庫水準	14.0	6.3	-7.3	0.3	-3.1	-12.0
雇用者数	25.9	24.9	12.9	12.8	11.2	12.0

10月の米フィラデルフィア連銀業況指数は、市場予想の5.3を上回る9.7となったが、前月の12.8からは低下した。新規受注指数が16.3（前月1.4）と2014年11月以来の高水準、一方、支払価格指数は7.0（20.6）に低下し今年3月以来の低水準となった。また、販売価格は-3.7（9.7）、出荷は15.3（-8.8）、在庫は-12.8（26.2）、雇用者指数は-4.0（-5.3）となった。また、6ヵ月予測では、景況指数が32.6（37.5）、仕入価格が42.4（42.2）、販売価格が29.2（33.4）、設備投資は21.2（8.6）、雇用者数は25.9（24.9）となった。

21:45

＜ 要人発言 ＞

ドラギ ECB 総裁 定例会見

- ・「安定的なペースで適度な経済成長がみられる」
- ・「QEは必要ならば2017年3月までもしくはそれ以降まで継続する」
- ・「経済見通しは、依然下振れリスクにさらされている」
- ・「本日の会合で量的緩和延長の議論はなかった」
- ・「本日の会合でテーパリング議論しなかった」
- ・「量的緩和を突然終了する公算は小さい」
- ・「マイナス金利について、手短かに議論した」
- ・「購入対象債券の少なさについては、現在問題ではない」
- ・「12月の理事会で今後の方向が決まるだろう」

ユーロ-米ドル, 1分足, #100



出所：Net Dania

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米中古住宅販売件数 547万件（予想 535万件・前回 530万件）
 前回発表の533万件から530万件に修正

9月米中古住宅販売件数（前月比） 3.2%（予想 0.4%・前回 -1.5%）
 前回発表の-0.9%から-1.5%に修正



出所：Bloomberg

NAR（全米不動産業者協会）が発表した9月の米中古住宅販売件数は、年率換算で前月比+3.2%の547万件と3ヵ月ぶりに増加した。前年同月比では+0.6%。

①一戸建て住宅が前月比+4.1%の486万件、前年同月比では+0.6%。集合住宅は+3.2%の61万件、前年同月比では横ばいだった。

②成約物件の中間販売価格は、前年同月比+5.6%の23万4200ドル、平均販売価格は+4.2%の27万6200ドルだった。

③地域別の販売は、最大市場の南部が前月比+0.9%の216万件となり、他の地域も全てプラスとなった。

④市場の住宅在庫は、9月末時点で前月比+1.5%の204万件、前年同月比では-6.8%と16ヵ月連続で前年水準を下回った。販売に対する在庫比率は4.5ヵ月で、前月比-2.2%だった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米景気先行指標総合指数（前月比） 0.2%（予想 0.2%・前回 -0.2%）



出所：Bloomberg

＜米景気先行指数＞

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
先行指数	0.2	-0.2	0.5	0.2	-0.2	0.5	0.0
一致指数	0.2	0.1	0.3	0.3	0.0	0.2	0.0
遅行指数	0.2	0.2	0.2	-0.2	0.4	0.3	0.5

＜欧州のポイント＞

- ①ECB（欧州中央銀行）は、市場の予想通り、主要政策金利であるリファイナンス金利を 0.00%に据え置くことを決めた。また、上限金利の限界貸出金利を 0.25%、下限金利の中銀預金金利を-0.40%で据え置いた。そして、月間 800 億ユーロの資産買入も 2017 年 3 月まで続けるとした。
- ②ECB は、ギリシャの ELA（銀行向け緊急流動性支援）の上限を 518 億ユーロ（568 億ドル）に維持したとギリシャ中銀が発表した。民間部門の預金流出状況などを踏まえ、ギリシャの銀行部門の流動性状況が安定化していることを反映している。今回設定した ELA 上限は 11 月 2 日まで有効となる。
- ③トルコ中銀は、通貨リラが軟調なことを挙げ、主要政策金利をいずれも据え置いた。1 週間物レポートを 7.50%に据え置き、翌日物貸出金利を 8.25%、翌日物借入金利を 7.25%にそれぞれ据え置いた。7 ヶ月連続で利上げしていることや、エルドアン大統領も緩和を繰り返し求めていたことから、市場では翌日物貸出金利の引き下げが予想されていただけに、予想外の据え置きとなった。声明では「為替レートの最近の動向やコスト要因などによりインフレ見通しを抑制、このため慎重な金融政策スタンスの維持が必要となる」とした。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、欧州中央銀行のドラギ総裁が、量的緩和の段階的縮小について理事会で議論しなかったと明言したことで、買い安心感が広がり、主要株価は続伸となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 2.40 ドル安の 1 オンス=1267.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドラギ ECB 総裁が量的金融緩和延長の可能性を示唆し、ユーロ安・ドル高が進んだことから、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。また、米大統領選の第 3 回候補者討論会で民主党のクリントン氏が優勢だったことも、比較的安全な資産としての需要が弱まる結果となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 1.17 ドル安の 1 バレル=50.43 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日に約 1 年 3 ヶ月ぶりの高値水準となったことから、一旦利益を確定する売りが先行した。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことで、ドル建ての原油の割高感が広がったことも影響した。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米企業の業績先行きを期待する買いが入る一方、米失業保険申請件数が市場予想を上回ったことを嫌気した売りも出て、序盤はもみ合いの展開となった。ただ、米住宅関連の指標が堅調な結果となり、米国の年内利上げ期待が高まったことから、上値の重い動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤堅調な値動きが見られたものの、その後は上値の重い動きが続き、反落となった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米住宅関連の経済指標が予想を上回る結果となったことから、米国の年内利上げ期待も高まり、ドルは堅調な動きとなった。一方、ユーロはECB 総裁の発言を受けて上昇したが、その後下落するなど、値動きの荒い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。